

# フナ林の恵み・森林文化を訪ねて

## 福田頭の登山コース(徒歩)

- かさべるで  
15分 山案内板のある福田上集会所が「登山口」。
- 1 登山口・福田上集会所  
35分 福田上集会所から、市道井西線を進み標識のある橋を渡る。田畑の中を進み舗装してある林道と合流。合流地点から左に折れて林道を進むと、福田頭登山案内板のある「登山道入口」に到着。
- 2 登山道入口  
35分 谷治いの細い山道となり、木の橋を渡って樹林帯に入る。沢治いの道には随所に、案内用のテープがある。一の滝の看板から奥へ約40m進むと「一の滝」、そして道治いに「二の滝」、「三の滝」が現れる。
- 3 三の滝  
30分 滝の上部に出ると湿地の広い谷間となり、さらに進むとフナ林の巨木が現れ、前方に空が見え、比和町と西城町との境、井西山と福田頭の鞍部、「大波峠」に着く。
- 4 大波峠 (おおはのとうげ)  
40分 大波峠から左へ進み、山頂まではフナ林などの繁る世尾根を登る。急な登りから、なだらかな稜線に出てしまおうとすると「福田頭山頂」に着く。
- 5 福田頭山頂  
20分 山頂からは、吾妻山、猿牧山、三瓶山、大山などが見え、山頂周辺にはウリノカタエダ、イタヤカエデ、フナカタなどの植物が自生。
- 6 兎舞台頭 (うさぎぶたいがしら)  
35分 下山は稜線を北へ進み、小岩のある「兎舞台頭」から稜線と分かれ左尾根を下りる。フナ林が広がり、樹齡200〜300年の巨木が並び尾根から谷への下りにかかる。滑りやすいシジメグサの道になる。沢に下りると20m奥に「昇竜の滝」があり、沢治いを下りると「下山口」へ着く。
- 7 下山口  
50分 下山口から2車線の市道井西線を4km下りると、登山口の福田上集会所へ到着。



ただら製鉄が盛んな頃の元締めとされる古家真屋敷跡



カノナ元地(原地)がある吾妻山、昔は和牛の放牧地でした



出雲国風土記に出てくる道があった大膳原(左から吾妻山〜大膳原〜比婆山御陵)

至：奥出雲

吾妻山

烏帽子山

比婆山御陵

比婆山のフナ林  
比婆山伝説地

池ノ段

至：高野IC

荒木家住宅



至：西城



比和総合運動公園から福田頭と井西山が一望できる

井西山  
1,186.6m

大波峠

三の滝  
二の滝  
一の滝

登山口

登山道入口

かさべるで



戦国時代に火矢と呼ばれ、牛市で栄えた比和の町

比和自然科学博物館  
庄原市役所比和支所

## フナ林の恵み：環境資源としてのフナ林

現代、フナ林は、「環境資源」として重要な役割を果たしています。環境資源として、まず、重要なことはフナ林が「巨大なガス交換器」の役目を果たしていることです。植物は光合成で二酸化炭素CO<sub>2</sub>を吸収し、酸素O<sub>2</sub>を放出しているからガス交換器というわけです。フナ林は1ヘクタールあたり、1年間に15〜30トンのCO<sub>2</sub>を吸収し、10〜20トンの酸素を放出しています。地球温暖化の中、CO<sub>2</sub>の削減が大きな課題となっている21世紀、フナ林は大きな恵みとなっています。大雨が降ってもフナ林に雨を貯め、降った雨を徐々に谷川へ流し、洪水を緩和するはたらきをしています。また、落葉や黒土層をフィルターとしてきれいな水を流し、水質を守ってくれています。さらにフナ林にはフナだけではなく、多くの生き物たちがいて、フナ林を散策することで心が安らぎます。フナ林には保健・休養・レクリエーションの上でも大切な役割を担っています。これからはもっともっと環境資源としてのフナ林が見直されることでしょう。そのためには、フナと人間との共生を図りながらフナ林を守っていくことがより重要になってくると考えられます。

## 福田頭登山者の皆様へ

- 登山口には駐車スペースが少なく、ため比和総合運動公園の駐車場をご利用ください。
- 登山をされる方の宿泊などのお問合せ先は **かさべるで (08224) 85-2230**
- 登山道入口から下山口まで **かさべるで** (点線) は徒歩の林間コースです。
- 登山コース又は自然の豊かさを認識していただくため、できるだけ人工的なものは加えていません。

～誰もが気持ち良く登れる自然環境を残しましょう～



グリーンポート吾妻路がある木屋原は、その昔、鉄火流し山の砂が堆積する場所でした

至：庄原IC

至：口和IC  
至：甲之岳